

平成 29 年 7 月 12 日

## リウマチ・免疫内科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

**研究課題名** インターロイキン 6 (IL-6) が関与する難治性炎症性疾患における血清 IL-6 値の推移と治療効果

**研究機関** 市立札幌病院 リウマチ・免疫内科

**研究責任者** リウマチ・免疫内科/片岡 浩

### 研究の目的

IL-6 値の推移を検討することにより、各難治性炎症性疾患に対して現在行っている治療法の有効性について新たな評価項目の一つとなる可能性があり、さらに、関節リウマチおよびキャッスルマン病については、トシリズマブ (アクテムラ®) による疾患の制御についての理解が深まることが期待されます。

### 研究の方法

#### 1 対象となる患者さん

現在通院中であり、研究期間中継続通院予定となっている、関節リウマチ、乾癬性関節炎、キャッスルマン病、成人発症ステイル病、リウマチ性多発筋痛症、血管炎症候群、RS3PE 症候群、結晶誘発性関節炎、ベーチェット病 (トリソミー8 を有する骨髄異形成症候群を含む)

#### 2 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見 (関節所見を含む)、検査結果(血液検査、画像検査 ; X 線、CT、エコー検査)

### 個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

**※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。**

**【お問い合わせ先】**

北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目  
市立札幌病院リウマチ・免疫内科